



全員元気に 2 学期のスタート

さあ、子どもたちの元気な声が園庭に戻ってきました。いつもは、年少さんの何人かが、泣いて登園していましたが、今年は、違います。泣いて登園してくる子どもは誰一人としていませんでした。

今年は、園舎建築が、6月に始まる予定であったために、例年より早く 8 月 29 日に 2 学期の始業式を計画しました。

(園舎建築は、土砂災害防止の工事が急務ということから、次年度に延期と決定されましたが、2 学期の始園式は年間の計画通りに実施)

偶然、この日は、市内の小学校と夏休み明けの授業開始日が同じということで、ある保護者の方から「幼稚園や学校が同時に始まり、やっと子どもから解放されてほっとしました」という声も聞かれました。

今年の夏は、特に暑く、子どもたちの熱中症を心配していましたが、長い夏休みを無事に過ごしたようで、職員一同、元気な子どもたちの姿を見て安心し、2 学期に向けた保育に、熱い思いが湧いてきたところです。

始園式で、子どもたちに夏休みの一番の思い出を尋ねたところ次のような思い出を語ってくれました。

- ・おばあちゃんの家泊まりに行き、花火をしたこと。
- ・おじいちゃんの家泊まりに行き、おじいちゃんからアストラオオカブトをもらったこと。
- ・家族で、種子島へ旅行し、そこでキャンプしたこと。
- ・お父さんと、昆虫採集をしたこと。
- ・スイミング教室で、泳げるようになったこと。

等です。教室に戻ると、「私は、プールで目を開けられるようになった。」「ぼくは、25メートルを泳げるようになったよ。」と、出来るようになったことを自慢げに話す子ども。そして、家族でフランスやオーストラリア、マレーシアなどの外国へ、初めて飛行機に乗って旅行したことを楽しく語る子どももいました。

今年は、オリンピックの年でしたから、オリンピックを話題にし、この幼稚園を卒園した人からオリンピックの選手が出ると嬉しいことを話しました。2 学期には運動会がありますから、「オリンピックは勝つことではなく参加することに意義がある」と言われるように、勝つことも大事であるが、できるようになるまでの努力が大切であることを話しました。ご家庭でも、今年の夏は、オリンピックのことが話題になったことでしょう。

始園式後まだ 3 日しか経っていないのに、年長さんは、早速、自主的に、園庭でリレーの練習を始めました。狭い園庭のカーブをうまく回って走っています。オリンピックの刺激を受けてか、今年は、学期早々、どの学年も気合の入れ方が違うようです。子どもたちのこれからの努力の成果を楽しみにしたいと思います。

大盛況の夏まつり

幼稚園一大イベントの一つである夏まつりは、子どもはもちろん、ご家族の方も楽しみにしている行事です。今年も、家族連れでたくさんの方が参加してくださいまして、大変盛り上がった夏まつりでした。

企画委員長さんが、「今年は、是非、園庭高く、花火を打ち上げたい」と、1 学期から話しておられましたが、予算の関係で、残念ながら花火を打ち上げることはできませんでした。しかし、企画委員さんの連日の話し合いにより、各学級がそれぞれの出店を工夫し、在園児はもちろん、卒園児まで大いに楽しむことができました。

今年の夏は異常な暑さであったために、初めて、園で氷柱を準備したところ、子どもたちには大変好評で、直接、氷を触ったり、氷水に手を付けたりして涼をとって楽しんでいました。ヨーヨー釣りの場所は、最も日が当たる所だったために、担当された保護者の方にとって、氷柱は喜ばれたようです。

この暑さのために、綿菓子やソーセージの売り上げが気になっていましたが、いずれも完売ということでした。今後の異常な暑さを考えると、他の出店も検討しなければいけないところですが、小腹を満たすソーセージ、子どもに人気の綿菓子など、次年度もやめられない感じです。

盆踊りについては、昨年、中・高グラウンドの音響設備不良のため、園庭で窮屈な思いをしながら盆踊りをしましたが、今年は、中高のグラウンドで、のびのびと楽しむことができました。年中、年長さんは、毎年踊っている踊りですから、リズムよく踊っていました。年少さんも 1 学期の数日間しか練習していませんでしたが、覚えがいいので、上手に可愛らしく踊ることができました。ここぞとばかり、シャッターチャンスを見逃さず、あちこちで、カチャリ。

盆踊り後、運動場整地にまでご協力頂きましたお父様方有難うございました。また、各学級の出店のお手伝いをされたお母さま方、そして、暑さの中、汗を流しながらソーセージ焼きをして頂いた

「らいおん組」のお父さま方、ありがとうございました。

